

令和6年度

高出三区だより

令和7年3月

発行 区政委員会



寺沢 宏芳区長 退任のごあいさつ

2年間区長職を務めさせていただきました。役員や区民の皆さまのご支援・ご協力で、何とか役割を全うすることができましたことを、まずもって感謝申し上げます。

最初の1年、私たちの役割はポストコロナ社会での新しい地域づくりでした。自粛されてきた各種行事や取り組みを新しい視点で見つめなおし、廃止や改革を加えて復活してきました。2年目は、元旦の能登半島地震を受けて、災害に強い地域づくりに重点を置きました。防災避難訓練の充実、困ったときには助け合える地域を構築することを意識し活動しました。取り組みはそれぞれ満足のいくものではありませんでしたが、地域が少しでも前に進めたのなら、役割の一端を果たすことができたものと思います。

最も困難を感じたのは、地域の役員のなり手不足でした。「多忙で役員を受けられない」、「押し付けるなら脱会する」、「ゴミは自前で処理するから自治会は不要」といったご意見を聞くにつけ、寂しい思いをしました。社会の多様化が進んでいることは承知していますが、これまでの地域の先輩方や私たちの取り組みはいったい何であったのか、煩悶せざるをえません。また一方で、私たちもいろいろな世代の方々に、もっと魅力的で多くの皆様の参加意欲を喚起できるような活動にするための工夫が欠けていたのではないかと反省します。

最後になりましたが、もっとも区民が安心して生活を楽しみ、助け合いや交流を深めていく、そんな素晴らしい地域の未来に向かって、地区の活動がより充実・発展することを願い、退任のあいさつに代えさせていただきます。

令和5・6年度 区長：寺沢宏芳

次期区政委員、新役員体制

令和7・8年度 高出三区の新役員の皆様をご紹介します。

区長 : 塩原 康視 (5組)

副区長 : 加藤 剛 (3組)

会計 : 樋口 裕之 (6組)

区政委員 : 小澤 光昭 (2組)、清水 義浩 (7組)、山本 亨 (8組)

土井田 知弘 (9組)、田中 卓也 (11組)



高出地区役員会 防災研修会

2月8日（土）日本防災士会 長野県支部長の
大久保隆志様を講師としてお迎えし、防災研修会を実施しました。

令和6年度の能登半島地震と豪雨被害を教訓にして、今後起こりうる、南海トラフ地震などを想定して、地域として備えておくべきことについて、ご講演いただきました。

重点ポイントとしては、以下の2点です。

① みんなで助かるためには、お互いを思いやる気持ちに加えて、知識と知恵と行動が必要

- ・防災の事を学び、それぞれが何をすればいいのかを考えて、一步踏み出して行動する。
- ・意図があれば方法は無限大。

② 優先順位をきめて備える、訓練する。

なぜなら、災害時には、

- ・普段やっていることしかできない。
- ・普段やっていることも満足にできない。
- ・普段やっていないことは絶対にできない。



編集後記

令和5年4月に地区役員を拝命して以来、振り返ると、あっという間の2年間でした。

コロナの5類移行で、自粛していた諸活動が一気に立ち上がり、最初の1年間は文字通り、手探りで一步步慎重に歩んでまいりました。時には、区民の皆様から厳しいご指摘も受けながらも、おかげさまで、なんとかここまでたどり着くことができました。

特に、高出地区の敬老会は、各区で開催していた方式を改め、地区全体として開催いたしました。新方式がはたして受け入れられるかどうか、懸念していたところ、ご参加いただいた皆様が、笑顔で楽しまれていたり、2年目はより多くの方々が、ご参加されていたりしたことで、報われた思いと、小さな誇りも感じることができました。

来年度以降は、新役員の皆様に引き継ぐこととなりますが、これからは一区民として、微力ながら地域活動を支えてまいりたいと思います。今後とも、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

